

『 ボールをもって… 』 0歳児(1歳9カ月) 2月



ぽーん



保育者の思い

エピソード

園庭を探索していると、落ちていたボールに興味をもち、両手でボールを拾って、再び歩き始めました。

ボールを落とさないようにしっかりと持ったままガタガタ道やトンネルを通して、最後に来たのはゆらゆら橋。ボールを両手から片手に持ち替え、手すりを持って、橋を登りました。そして、下りはゆっくりとゆっくりと、途中で止まりながらもボールを落とさずに渡りきりました。

ほっとした表情で園庭を歩き出し、たまたま見つけたウレタン積み木の真ん中にボールを落とすと、小走りで走って行きました。

探索しながら、歩くことを楽しんだり、興味のあるものを見つけたりしています。

ボールを持ってどこへ行くのか知りたくて、こっそりついて行きました。

集中が途切れないように、声は掛けずに黙って見守りました。

緊張からの解放感が小走りとなりました。

子どもの育ちや学び

- ・ボールを持って歩く。
→ガタガタ道、トンネル、揺れる橋(不安定な場所)を歩くことでバランス感覚を養うことができます。
- ・ボールを片手に持ち替える。
→橋を渡れるように考える。

家庭だったら…

お家の中でも、ものを持って歩く姿はありませんか? 転んだ時は手が付けないのでハラハラした経験もあるかもしれません。ものを持ちながら歩くことが楽しかったり、歩きながら遊ぶ場所を探したりしているかもしれませんね。